

# 日本を知り 日本を相続する

## 協賛趣意書

わたしたちが大切にしたいこと、それは世代が変わっても、家族のものがたりがずっとずっと続いていくこと。これは家族の財産だということ。

我が国日本も同じ。世界で一番長く続く国、日本。この幸せと尊さを、いつの間にか私たちはあたり前のように思っていないでしょうか。わたしたちのご先祖様が守り抜いた大いなる日本のものがたりを知ってしまったら、何かせずにはいられない。このプロジェクトは、そうした思いからスタートしました。

未来を拓く学生の皆さんが、日本のすがたを知り、これからの日本のはなしと一緒に学びあえる場をつくりたい。

有り難いことに、福岡県神社庁様と太宰府天満宮様、櫻井神社様、水天宮様、筥崎宮様、宗像大社様にご後援を賜ることができませんでした。講師には作家の竹田恒泰先生をお迎えし、皇統の継承を中心に学校では教えない日本の国史を存分に語り伝えて頂きます。

本来ならば運営当局の資財で開催されるべきですが力及ばず、つきましては、本会の趣旨にご賛同頂き、協賛・広告掲載など、格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。学生の皆さん全員が色とりどりの未来を描けるように、温かい応援とご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本を相続する実行委員会

相続マインズ福岡 代表

小峰 裕子

## 【なぜ竹田恒泰氏か】

竹田氏のお話はその見識もさることながら、「一丁目一番地は皇統の継承である」と伺いました。皇統の継承についてお話しなさる方なら、他にもいらっしやるでしょう。ただ、竹田氏のお話しは、聴く人を元気にしてくれる話力があります。私もできることがあるかもしれない、できることがあればやってみたいと思わせてくれる、そんな勇気ももらうことができます。学者の先生ではなく、若い方々にわかりやすく楽しく伝えて頂ける方は竹田氏をもって他に存じ上げません。これこそ私たちが竹田恒泰氏をお招きした一番の理由です。

## 【協賛金の会計報告について】

ご登録頂いたメールアドレスに、定期的なお知らせと協賛口数の現況と会計報告をさせていただきます。また SNS 等での告知も行うなど、広く公開してまいります。

## 【相続マインズ福岡よりご挨拶】

わたしたちは、『相続の本質は人の幸せ』ととらえ、  
財産対策だけを目標・目的とするのではなく、  
相続は家族が絆を深め、  
幸せであり続けるための手段と見据え  
単なる相続の手続きや仲介ではなく  
家族のひとり一人の考え方や経験、人生観に合った対策を具体化することで  
家族の幸せが守られ、幸福感に満ちた世の中にする役目を果たします。

この理念を共有する多くの仲間と歩み続けて、相続マインズ福岡はおかげさまで 10 年が経ちました。  
有り難うございます。

「相」という漢字は「すがた・ありさま」という意味を持つそうです。家族の笑顔はしっかり守らなければ簡単に壊れてしまうという相続のリアル。資産家に限らず多くの人々の「すがたが続く」幸せのためには、まず何が問題なのか知ってもらうこと、広く伝えることがとても重要になります。家族に不安がなくなり、笑顔が増えれば家族の絆が深まり、家族の絆が深まれば世の中が良くなり、豊かな社会が築かれることで世界の共存共栄に貢献する日本のすがたは続いて行きます。これは日本の原点だと思うのです。

わたしたちは、生まれ育った日本の「すがたが続く」ことの幸せと尊さを知り、日本人とは何かを共通理解することで、みなさまの未来の“指針”になることを目指しています。

ゲストに竹田恒泰氏をお迎えしての、この日この場所でなければ体験できない特別な一日。  
多くみなさまのご賛同を頂きましたら嬉しいです。

## 協賛金募集について

1. 協賛金 1口 15,000円
2. 目標 130口 195万円
  - 目標達成次第、締め切ります。
3. 使いみち
  - 中学生以上のお子様、学生の約100名参加無料（社会人学生除く）
  - 先着順（定員になり次第締め切ります）
  - 専門学校生や短大生も対象です。
  - 他、会場や講師料など運営費に充当いたします。
  - 余剰が生じた場合は福岡県神社庁に相談の上、従います。
  - 協賛金募集状況と会計報告は定期的に行うことをお約束いたします。
4. 協賛頂いた方へのお礼
  - 1口につき1席の無料招待券を進呈します。
  - 協賛者様は学生と一緒になくてもおひとりでご参加頂けます。
  - 協賛者様は、対象となる中学生以上のお子様、お孫様、ご親戚と一緒にご参加頂けます。
  - お取引先様へのプレゼントとしてもご利用頂けます。
  - 協賛頂いた事業者様や団体様、個人様も、御希望があれば当日配布パンフレットへの協賛口数に応じた広告枠を使用できます。